



HyperFlex Edge アップグレード

- [概要 \(1 ページ\)](#)
- [Cisco HyperFlex Edge ファームウェア推奨バージョン \(2 ページ\)](#)
- [Cisco Host Upgrade Utility ツールを使用したサーバファームウェアのアップグレード \(3 ページ\)](#)
- [Cisco Integrated Management Controller Supervisor を使用したサーバファームウェアのアップグレード \(4 ページ\)](#)
- [Cisco IMC Supervisor を使用した Cisco UCS C シリーズ サーバのファームウェアの更新 \(6 ページ\)](#)
- [HX Connect を使用した HyperFlex Edge のアップグレード \(7 ページ\)](#)
- [HyperFlex Edge のアップグレード後の作業 \(9 ページ\)](#)

概要

このセクションでは、HX Connect からの Cisco HyperFlex Edge システムのアップグレードに関連する情報を提供します。クラスタが Cisco Intersight を使用して展開されている場合は、Intersight を使用してクラスタのアップグレードを実行してください。Intersight を使用した Edge クラスタのアップグレードに関する詳細なアップグレードの前提条件と手順については、「[Cisco Intersight での Cisco HyperFlex Edge システムのアップグレード](#)」を参照してください。



重要

- HyperFlex Edge システムのアップグレードには、サーバファームウェア、HyperFlex Data Platform ソフトウェア、および VMware ESXi のアップグレードが含まれます。
- HyperFlex Connect を使用して、HyperFlex Data Platform と VMware ESXi の複合アップグレードを実行することも、分割アップグレードを実行することもできます。
- UCS サーバファームウェアのアップグレードは、HX Connect からはサポートされていません。代わりに、Host Upgrade Utility (HUU) ツールまたは統合管理コントローラ (IMC) スーパーバイザを使用して個別にファームウェアのアップグレードを実行します。

Cisco HyperFlex Edge ファームウェア推奨バージョン

- 『Cisco HyperFlex Release Notes Release Notes for Cisco HX Data Platform、Release 4.5』、および『推奨 Cisco HyperFlex HX-Series Systems 向け Cisco HyperFlex HX Data Platform ソフトウェア リリース』の「Cisco HyperFlex アップグレードガイドライン」を確認します。
- アップグレードがサポートされているリリースについては、[Cisco HyperFlex 推奨ソフトウェア リリースおよび要件ガイド](#)を参照してください。
- サポートされなくなったリリースからアップグレードする場合は、『[Cisco HyperFlex Systems Upgrade Guide for Unsupported Cisco HX Releases](#)』を参照してください。
- HX Connect を使用してアップグレードされた HyperFlex Edge クラスタの場合、HyperFlex Data Platform のアップグレードには、HyperFlex Data Platform ソフトウェアに加えて、組み込みストレージファームウェアのアップグレードが含まれます。この組み込みファームウェアアップグレードには、分散ストレージプラットフォームを実行する SAS パススルーストレージコントローラおよび関連するドライブ(ハウスキーピング、キャッシュ、および容量)への更新が含まれます。これらのコンポーネントの手動アップグレードは実行しないでください。HX Connect を使用してサーバー ファームウェアのアップグレードを完了することをお勧めします。これらのストレージコンポーネントを手動でアップグレードまたはダウングレードする必要がある場合は、次のことを確認してください。
 - ホストアップデートユーティリティ (HUU) を使用してシャーシファームウェアをアップグレードする場合は、SAS コントローラをアップグレードするオプションのチェックを外し、ドライブをアップグレードしないでください(必要に応じてブートドライブを除く)。
 - デフォルトでストレージコントローラが含まれるため、HUUの[すべてアップグレード] ボタンの使用は避けてください。
 - これらのデバイスのファームウェア管理は、HyperFlex Data Platform によって自動的に処理されるため、他のユーティリティを使用して手動で変更しないでください。HUUを使用してこれらのコンポーネントをアップグレードするのは、トラブルシューティングに必要と判断される場合、または Cisco TAC の指示に従ってのみです。
 - バージョン 4.1(3b) より前の Cisco IMC バージョンを実行しているクラスタの場合、サーバファームウェアのアップグレードを実行するには、セキュアブートを一時的に無効にする必要があります。Cisco IMC バージョン 4.1(3b) バージョン以降がクラスタ内のすべてのノードで実行されている場合は、ファームウェアアップグレードのためにセキュアブートを有効にすることができます。

Cisco Host Upgrade Utility ツールを使用したサーバファームウェアのアップグレード

次の表で、Cisco HX サーバのサーバファームウェアアップグレードのワークフローの概要を説明します。

ステップ	説明	参考資料
1.	ノードをHXメンテナンスモードにします。 (注) アップグレード中にクラスタをオンラインのままにするには、ノードを一度に1つずつアップグレードします。	Cisco HyperFlex のメンテナンスモードの開始
2.	Host Upgrade Utility ツールを使用してサーバファームウェアをアップグレードします。	『Cisco Host Upgrade Utility User Guide』の「Upgrading the Firmware on a Cisco UCS C-Series Server Using the HUU」を参照してください。
3.	ノードを再起動して再びESXiにします。HXメンテナンスモードを終了します。	
4.	クラスタが完全に正常な状態になるまで待機します。	HyperFlex クラスタのヘルスの表示
5.	ローリング方式で、残りのHXノードに対して手順1～4を繰り返します。 (注) クラスタ内の次のホストをメンテナンスモードにする前に、正常な状態かどうかを確認します。	

『Cisco Host Upgrade Utility User Guide』の最新のリリースと過去のリリースは <https://www.cisco.com/c/en/us/support/servers-unified-computing/ucs-c-series-rack-servers/products-user-guide-list.html>にあります。

Cisco Integrated Management Controller Supervisor を使用したサーバファームウェアのアップグレード

次の表で、Cisco HX サーバのサーバファームウェアアップグレードのワークフローの概要を説明します。

ステップ	説明	参考資料
1.	<p>ノードを HX メンテナンスモードにします。</p> <p>(注) アップグレード中にクラスタをオンラインのままにするには、ノードを一度に1つずつアップグレードします。</p>	
2.	ラックグループを作成します。IMC Supervisor インベントリにサーバを追加します。	『Cisco IMC Supervisor ラックマウントサーバ管理ガイド』の「 サーバ検出、ラックグループ、およびラックアカウントの管理 」を参照してください。
3.	自動検出プロファイルを設定します。	『Cisco IMC Supervisor ラックマウントサーバ管理ガイド』の「 自動検出プロファイルの設定 」を参照してください。
4.	ラックグループでインベントリを実行します。	『Cisco IMC Supervisor ラックマウントサーバ管理ガイド』の「 ラックアカウントまたはラックグループのインベントリの収集 」を参照してください。

ステップ	説明	参考資料
5.	ファームウェア プロファイルを作成します。	『Cisco IMC Supervisor ラックマウントサーバ管理ガイド』で、次のタスクを参照してください。 <ul style="list-style-type: none"> ローカルサーバへのイメージの追加 ローカルファイルシステムからのイメージのアップロード ネットワークサーバからのイメージの追加
6.	メンテナンスモードになっているノードで IMC Supervisor を使用してファームウェアをアップグレードします。	『Cisco IMC Supervisor ラックマウントサーバ管理ガイド』の「ファームウェアのアップグレード」を参照してください。
7.	ノードを再起動して再び ESXi にします。HX メンテナンスモードを終了します。	
8.	クラスタが完全に正常な状態になるまで待機します。	
9.	ローリング方式で、残りの HX ノードに対して手順 6 を繰り返します。 (注) クラスタ内の次のホストをメンテナンスモードにする前に、正常な状態かどうかを確認します。	

<https://www.cisco.com/c/en/us/support/servers-unified-computing/integrated-management-controller-imc-supervisor/products-installation-and-configuration-guides-list.html> で、『Cisco IMC Supervisor ラックマウントサーバ管理ガイド』の最新リリースと過去のリリースを確認できます。

Cisco IMC Supervisor を使用した Cisco UCS C シリーズ サーバのファームウェアの更新

Cisco IMC バージョン 2.0(x) にアップグレードする場合、デフォルトの Cisco IMC パスワードを変更する必要があります。



- (注) Cisco IMC Supervisor をアップグレードする前に、ファームウェア プロファイルがすでに設定されている場合は、Cisco.com クレデンシヤルとプロキシの詳細が設定されていることを確認してください。

ステップ 1 [Systems] > [Firmware Management] を選択します。

ステップ 2 [Firmware Management (ファームウェア管理)] ページで、[Firmware Upgrades (ファームウェア アップグレード)] をクリックします。

ステップ 3 [アップグレードの実行 (Run Upgrade)] をクリックします。警告メッセージが表示され、選択したサーバのアップグレードを実行すると、ホストがリブートしてファームウェア更新ツールが起動することが通知されます。ファームウェアのアップデートが完了すると、サーバはホスト OS を再起動します。

ステップ 4 [OK] をクリックして確定します。

ステップ 5 [Upgrade Firmware (ファームウェア アップグレード)] 画面で、次のフィールドに入力します。

フィールド	説明
[プロファイルの選択 (Select Profile)] ドロップダウンリスト	ドロップダウン リストからプロファイルを選択します。
[Platform] フィールド	[Select] をクリックして、リストからサーバを選択します。選択したプロファイルで設定されているプラットフォームに一致するサーバだけがリストに表示されます
[Image Version (イメージバージョン)] フィールド	
[Image Path (イメージパス)] フィールド	
[後でスケジュール (Schedule later)] チェックボックス	このチェックボックスをオンにして、アップグレードを実行する既存のスケジュールを選択します。[+] アイコンをクリックして新しいスケジュールを作成することもできます。

ステップ 6 [送信 (Submit)] をクリックします。

HX Connect を使用した HyperFlex Edge のアップグレード

Cisco HyperFlex Edge クラスタのアップグレードプロセスでは、次の3つのコンポーネントがアップグレードされます。

- Cisco HyperFlex データ プラットフォーム
- VMware vSphere ESXi
- Cisco UCS スタンドアロン サーバファームウェア

HyperFlex Data Platform と VMware ESXi のアップグレードを組み合わせると、HyperFlex Edge クラスタの単一のアップグレードにすることができます。シスコでは、HyperFlex Connect からのこれら2つのコンポーネントを組み合わせることを推奨しています。一度に1つまたは2つのコンポーネントをアップグレードを選択できます。

個々のコンポーネントを1つずつアップグレードする場合は、[VMware vSphere/ESXi のアップグレード](#)を参照してください。標準クラスタと HyperFlex Edge クラスタのコンポーネントアップグレードプロセスは同じです。

このセクションでは、HyperFlex データ プラットフォームと VMware vSphere ESXi の複合アップグレードを実行する手順について説明します。このプロセスでは、HyperFlex ノードは、VMware vMotion を使用してワークロードを中断することなく、最適化されたローリングリブートを実行します。



(注) Intersight 経由で展開された HyperFlex Edge クラスタは、Hyperflex Connect から機能をアップグレードしません。アップグレードは、Intersight でのみサポートされています。

ステップ 1 HX Connect にログインします。

- a) 管理者ユーザのユーザ名とパスワードを入力します。
- b) **[Login]** をクリックします。

ステップ 2 ナビゲーション ペインで、**[Upgrade]** を選択します。

ステップ 3 **[アップグレードタイプの選択 (Select Upgrade Type)]** ページで **[HX Data Platform]** および **[ESXi]** を選択し、次のフィールドの値を入力します。

ステップ 4 HyperFlex データ プラットフォーム アップグレード パッケージ (storfs-package) をアップロードします。

表 1: Cisco HX データプラットフォーム

UI 要素	基本的な情報
HX ファイルをここにドラッグするか、または [参照] をクリックします	<p>「Download Software : HyperFlex HX Data Platform」から、前の release.tgz パッケージを使用した既存のクラスタをアップグレードするための Cisco HyperFlex Data Platform アップグレードバンドルをアップロードします。</p> <p>サンプル ファイル名の形式: storfs-packages-4.5.1a-31601.tgz</p>
現在のバージョン	現在の HyperFlex Data Platform バージョンが表示されます。
現在のクラスタの詳細	HyperFlex バージョンおよびクラスタ アップグレード状態 のような HyperFlex クラスタの詳細がリストされます。
Bundle version	アップロードされたバンドルの HyperFlex Data Platform バージョンが表示されます。
(任意) [チェックサム (Checksum)] フィールド	<p>MD5 チェックサム番号は、Cisco.com のソフトウェアダウンロードセクションのファイル名にカーソルを合わせてホバーさせると表示されます。</p> <p>このオプション ステップは、アップロードされたアップグレード パッケージバンドルの整合性を検証するのに役立ちます。</p>

ステップ 5 VMware ESXi カスタム イメージのオフライン アップグレードバンドルをアップロードします。

ステップ 6 vCenter ログイン情報を指定します。

基本情報 (Essential Information)	基本的な情報
[ユーザ名 (User Name)] フィールド	vCenter <admin> ユーザ名を入力します。
[Admin Password] フィールド	vCenter <admin> パスワードを入力します。

ステップ 7 [アップグレード (Upgrade)] をクリックして、複合アップグレードプロセスを開始します。

ステップ 8 [アップグレードの進行状況 (Upgrade Progress)] ページの [Validation Screen] に、実行中の検査の進行状況が表示されます。検証エラーがある場合は修正します。

(注) この時点で、すべてのアップグレード前のチェックと検証が、最初のアップグレード段階とともに実行されます。数分以内に HX Connect が返され、アップグレードの確認と開始を求めるプロンプトが表示されます。両方の手順が UI で実行されるまで、アップグレードは完了しません。システムは、アップグレードの最初のステップのみが完了した状態のままにしないでください。

ステップ 9 HyperFlex Connect の UI は、アップグレードの最初のステップの後に更新され、UCS および vCenter のクレデンシアルを入力してアップグレードプロセスの第 2 段階を開始するように求めるバナーがポップアップ表示されます。アップグレード ページをモニタし、アップグレードが完了したことを確認します。

アップグレードが進行中の時に、「**Websocket の接続が失敗しました**」というメッセージが表示される場合があります。自動更新が無効になりました。エラーメッセージを消去するには、ページの表示を更新するか、ログアウトしてからログインし直します。このエラーメッセージは問題なく無視することができます。

- (注) アップグレードが完了したら、アップグレード後のタスクの **アップグレードが完了したことの確認** に進みます。アップグレードが失敗した場合は、アップグレードを再試行するか、Cisco TAC に連絡してサポートを受けてください。

HyperFlex Edge のアップグレード後の作業

アップグレードが完了して HyperFlex Edge クラスタがアップグレードされた後、HX Connect からログアウトして再びログインし、アップグレードによる変更を確認します。

ステップ 1 HX ノードが、期待されるファームウェア バージョンに一致することを確認します。

IMC Supervisor GUI または Cisco IMC UI でファームウェア バージョンをチェックして、正しいファームウェア バージョンであることを確認します。

ファームウェアバージョンを表示するには、IMC Supervisor GUI で、[システム (Systems)] > [ファームウェア管理 (Firmware Management)] タブに移動します。詳細については、『[Upgrading Firmware using IMC Supervisor](#)』を参照してください。

ステップ 2 SSH を介していずれかのコントローラ VM にログインします。

```
# ssh root@controller_vm_ip
```

ステップ 3 HyperFlex Data Platform バージョンを確認します。

```
# stcli cluster version

Cluster version: 2.5(1c)
Node HX02 version: 2.5(1c)
Node HX01 version: 2.5(1c)
Node HX03 version: 2.5(1c)
```

ステップ 4 HX ストレージ クラスタがオンラインであり、正常な状態であることを確認します。

```
# stcli cluster info|grep -i health

Sample output:
healthstate : healthy
state: healthy
storage cluster is healthy
```

ステップ 5 データストアが稼働中であり、ESXi ホストに適切にマウントされていることを確認します。

HX コントローラ VM から、次のコマンドを実行します。

```
# stcli datastore list
```

ESXi ホストから次のコマンドを実行します。

```
# esxcfg-nas -l
```

ステップ 6 使用するブラウザ インターフェイスごとに、キャッシュを空にしてブラウザ ページをリロードし、HX Connect のコンテンツを更新します。
